

(2) ポップスは世界を巡る - Pops Goes Around -
オーケストラとポップスで遊ぼう』作曲家・演出家・出演者プロフィール

宮川彬良(みやがわあきら) 作曲家 / 舞台音楽家

【略 歴】

- 1961年2月18日 東京都生まれ
1979年 和光高校卒業
1981年 東京芸術大学作曲科入学
1982年 劇団四季ミュージカルの音楽(作編曲・指揮)を手掛ける。
1983年 東京ディズニーランドオープン以来、パーク内エンターテイメントショーの音楽を担当する。
1988年 NHK総合テレビの音楽番組「音楽・夢コレクション」の音楽監督を4年間努める。
1995年 大阪フィル・ポップスコンサートの音楽監督並びに常任指揮者として招かれる。
定期公演(春・秋年二回)
1996年 音楽劇「身毒丸」で読売演劇賞・スタッフ賞受賞。
大阪フィル・ポップスコンサートで96年度ABC国際音楽賞を受賞。
1997年 ロンドン・バービカン劇場にて「身毒丸」を上演。
1997年 大阪なみはや国体・閉会式のショー音楽を担当。
1997年 NHK BS-2「フルーツサンデー」にレギュラー出演。
1998年 宝塚 アンサンブル・ベガの企画・音楽監督。
2000年 東京都演劇フェスティバルに於いて優秀賞を受賞。「ミラクル」の作曲
2001年 大阪21世紀開幕式典の編曲ならびに指揮。
編曲を担当した「石川さゆり音楽会」が芸術祭優秀賞を受賞。
ウルト・ディズニー生誕百周年記念「コンサート・オブ・ドリームス」を指揮。
2002年 NHK大阪 制作「今夜は見せまっせ」の音楽監督。
2003年 NHK教育TV「クインテット」の音楽を担当するほか、自身も「アキラさん」役で出演。

【主な作品】

《オリジナルミュージカル・音楽劇・舞台音楽》

- 1983年 「あしながおじさん」青井陽治演出
1984年 「リリー」青井陽治演出
1987年 「彦一とんち話」高平哲郎演出
1988年 「スタンド・アップ」福田陽一郎演出
「ONE MAN'S DREAM」(東京ディズニーランド)
1989年 「岡山物語」(岡山市制百周年記念)高平哲郎演出
1990年 「シンクロニシティ」(大阪花博)高平哲郎演出
1991年 ミュージカル「GANKUTSU-OH」青井陽治演出
1992年 「ボンボヤージ デ リーフデ」(長崎ハウステンボス)ラリービルマン演出
「カーテンアップ」福田陽一郎演出
1993年 音楽劇「漂泊者のアリア」(NHKホール20周年)栗山民也演出
1995年 音楽劇「身毒丸」蜷川幸雄演出

1997年 音楽劇「草迷宮」蜷川幸雄演出

- 1998年 ミュージカル「シャンポーの森で眠る」栗田芳宏演出
 1999年 「大正四谷怪談」栗田芳宏演出
 2000年 ミュージカル「ミラクル」菊池准演出
 ミュージカル「ファデット」栗田芳宏演出
 2001年 バレエ「ジャン・コクトー」小池修一郎演出
 2002年 「ブルターニュの子守唄」栗田芳宏演出
 音楽劇「ハムレット」栗田芳宏演出
 2003年 ミュージカル「家なき子」栗田芳宏演出
 テアトル・ミュージカル「星の王子さま」白井晃演出

高平哲郎（たかひらてつお）

コピーライター、雑誌編集者を経てフリーに。

以後、編集活動を中心にテレビ、舞台の構成演出を手がける。主な仕事はテレビ『今夜は最高』
 『笑っていいとも!』他。舞台は『ザッツ・ジャパニーズミュージカル』『雨にうたえば』
 『スター誕生』『西遊記・GOCOO』（2001年）「ダウントウン・フォーリーズ」など多数。

【略 歴】

- 1947年1月3日 東京都生まれ
 1971年 一橋大学社会学部社会心理学科卒業
 同年 マッキンエリクソン博報堂入社
 1973年 退社。「ワンダーランド」(後の「宝島」)編集に関わる
 1975年 アイランズ結成。
 以後、テレビ番組構成、雑誌編集、映画評論、エッセイ執筆、舞台・
 ショーの構成演出等が主要な仕事
 1989年 JR「トランヴェール」創刊時責任編集

【主な作品】

《舞台・ショー・イベント》

作・構成・演出（年代順）

- 「Oh! Sono Sono」「麗しきモノクロームの嘘」「American Variety Bang!」
 「ハロルド・ピンター・コレクション」「カッコ - の酢の物で」「愛人」「雪洲」「シンクロに
 シティ」「ザッツ・ジャパニーズ・ミュージカル」「ノエルとガーティ」「ドライビング・
 ミス・デイジー」「筒井康隆断筆祭」「賢い女の愚かな選択」「ラジオの時代」「市村座」
 「楽屋でスイング」「女てなもんや三度笠」「雨に唄えば」「もう一度、ボギー」「スター誕生」
 「アチャラカ誕生」「西遊記・GOCOO」「ダウントウン・フォーリーズ」
 「料理昇降機」「オバラ座の怪人20面相」

脚本・翻訳・訳詞

- 「ジキルとハイド」「フォーチュン・クッキー」(翻訳・訳詞)
 「越路吹雪物語」「砂の戦士達」(脚本)

ショー

堺正章・中村雅俊・研ナオコ・タイム5・島田歌穂等のディナショー
サンキュー・ブロードウェイ

《主なテレビ番組》

「笑ってる場合ですよ」「おれたちひょうきん族」「今夜は最高」
「笑っていいとも!」「ごきげんよう!」「今夜は 見せませ!」
「おまたせ! ラグ定食」

《単行本》

「みんな不良少年だった」「星にスイングすれば」「由利徹が行く」
「スタンダップ・コメディの勉強」それでも由利徹が行く」「銀座の学校」
「あなたの思い出」近著に「アチャラカ」ビレッジ・センター刊 2004年1月
「ぼくたちの70年代」 晶文社刊 2004年2月

ケイコ・リー

21才から独学でピアノを弾くようになり、名古屋のクラブでジャズやシャンソンの歌の伴奏を経験した後、ピアニストとしてプロになる。その後、徐々にシンガーへと転向。存在感のあるヴォーカルスタイルとディープなヴォイスは評判を呼び、共演したミュージシャンからは「楽器と対等に渡り合える歌手」と注目を集め、「低音で深く胸に染み渡る歌声は、一度聴けば忘れることはない。」等各紙で絶賛される。その即興性と瞬発力にすぐれたパフォーマンスの評価は高い。

94年以降、東京にも進出。95年「イマジン」でアルバムデビュー以来、2001年7月レギュラーグループのケイコ・リー&ドキドキモンスターズでの初スタジオレコーディング・アルバム「愛の奇跡」まで9枚をリリース。

2003年5月スイングジャーナル誌主催の、日本ジャズメン読者人気投票女性ヴォーカル部門で、堂々7年連続の第1位に輝いた。それに加え総合部門の頂点でもある「ジャズメン・オブ・ザ・イヤー」に輝き、「アルバム・オブ・ザ・イヤー」も獲得した。

2004年5月には同人気投票女性ヴォーカル部門で堂々8年連続の第一位を獲得。近年では香港・台湾・韓国ほかアジアでも人気を博し、セールスも好調。

2002年、日産ステージアのCMソング「We will Rock You」の大ヒットを受け、幅広いファンを獲得し、同年2月に発売した人気男性デュオ・ケミストリーの堂珍嘉邦とのデュエット曲「星たちの距離」の英語バージョンを含む、初のベストアルバム「ヴォイセス」は15万枚を超える大ヒット作となり、人気・実力とも No.1 ジャズヴォーカリストとして国内外で大変な人気を獲得している。

同2002年「ケイコ・リー シングス スーパースタANDARD」では、名曲ばかりをケイコ・リースタイルでしなやかに歌い上げ、そして2003年12月待望のニューアルバム「ヴァイタミンK」を発表。全曲ケイコ・リーのオリジナルでソングライター、メロディーメーカーとしての才能を存分に発揮している。

2004年5月、ハंक・ジョーンズ(P)との共演ミニアルバム「But Beautiful」をリリース。また、2003年12月東京厚生年金会館でのコンサートを収録した初のDVDが6月23日に発売。

2004年10月20日待望のニューアルバム「Who's Screamin」発売。

ジャケット写真はあの荒木経惟氏が撮影。早くも話題をよんでいる。
(ケイコ・リー オフィシャルサイト <http://www.keiko-lee.com/>)

今井 清隆 (いまい きよたか)

【略 歴】

1957年11月5日 群馬県生まれ
劇団東宝現代劇出身
劇団四季入団 (1995年)

【主な出演作品】

《舞 台》

1982年～ 「サウンド・オブ・ミュージック」
1985年 「ラ・マンチャの男」
1986年 「プリンセス・モリー」
1987年 「フープ・ディー・ドゥ・ショー」(東京ディズニーランド)
1988年 「レ・ミゼラブル」(全国公演)
1989年 「アニーよ銃を取れ」
1989年 「20世紀号に乗って」
1991年 「心を繋ぐペンス」
1991年 「レ・ミゼラブル」 ジャベール役
1992年 「ミス・サイゴン」 ジョン役
1993年 「レディ・ビー・グッド」 ジャック役
1995年 「リトル・ミー」 ノーブル役
1995年 「Cats」 ガス、グロールタイガー、バストファジョーンズ役
1995年 「美女と野獣」 ガストン役
1996年 「美女と野獣」 野獣役
1996年 「エピータ」 ペロン役
1998年 「オペラ座の怪人」 怪人役・通算 356 公演
1999年 「ソング&ダンス」(四季劇場「秋」)
2001年 「Una Noche - TOKYO・午前零時・TANGO ZERO HOUR - 」
2001年 「風と共に去りぬ」 アシュレー役
2001年 「ぶんざ」 紀伊国屋文左衛門役
2001年 「ラブ・レターズ」
2002年 「パナマ・ハッティー」 ニック役
2002年 「キス・ミー・ケイト」 フレッドノペトルーチオ役
2003年 「風と共に去りぬ」 バトラー役
2003年 「レ・ミゼラブル」 ジャンバルジャン役
2004年 「レ・ミゼラブル」(博多座)
2004年 「ジャック・ブレル」(青山劇場)
2004年 「サウンド・オブ・ミュージック」 トラップ大佐役 (博多座)

2004年 「レ・ミゼラブル・コンサート」(東京芸術劇場・中ホール)
《テレビ・ドラマ》
1995年 「ハムレット」 ハムレット役 (NHK・音楽ドラマ)

《CD・ビデオ》

「レ・ミゼラブル」ジャベール役（制作：東宝／発売元：東芝EMI）

「美女と野獣」ガストン役（制作：ディズニーカンパニー／発売元：ポニーキャニオン）

「エビータ」ペロン役（制作：劇団四季／発売元ポリドール）

「ノートルダムの鐘」ヴィクトル役（制作：ディズニーカンパニー／発売元：ポニーキャニオン）

「オペラ座の怪人」怪人役（制作：劇団四季／発売元ポリドール）

「ドラマティック・ステージ」ファースト・ソロCD（制作：フレンドシップ）

「エンドレス ドリーム」ファースト・ビデオ（制作：東宝ミュージック、フレンドシップ）

「舞踊劇名作」CD

「ガオハンター レクイエム」TVアニメソング

「グロリアスボイス」（制作：東宝ミュージック）

《コンサート》

2001年 「バレンタイン・コンサート」今井清隆ファースト・コンサート

【受賞歴】

1991年 第17回菊田一夫演劇賞受賞

1996年 読売演劇大賞優秀賞受賞